

事業所名

コロニー児童デイサービスとみぐすく

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		沖縄コロニーは、結核回復者が結成した「沖縄療友会」が当法人の前身であり、利用者第一優先を基本理念に、時代のニーズに合わせて、障害者福祉、高齢者福祉、児童福祉に取り組んできました。これからも、「利用者のしあわせ」「職員のしあわせ」「地域社会のしあわせ」の3つのしあわせの実現を目指して、福祉と医療の連携を図り、新しい福祉の創造に挑戦します。							
支援方針		①児童が明るく楽しく過ごせるよう、居心地の良い場所づくりを目指します。 ②発達支援や療育的活動（遊び、運動等）を通して、児童の成長・発達を促せるよう、支援計画に沿って支援します。 ③保護者が抱える育児不安や育児負担を軽減し、保護者が安心して子育てを行えるよう支援します。							
営業時間		平日	12 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		学校休日 祝祭日	9 時	30 分から	18 時	30 分まで			
支 援 内 容									
		項目				ねらい			
本人支援	健康・生活	生活リズムを整える(家庭や学校 デイでの様子を共有する) 生活動作の身辺自立(食事/排泄/衣類の着脱/衛生面での確認) 安心・安全に過ごせる(体調面での確認や様子観察)				学校やデイサービスなどに調子を整え通えるよう支援します。 生活動作面(食事/排泄/衣類の着脱/衛生面)でのスキルの習得を段階的に図ります。 安心・安全面でのサポートや緊急時(発作等)の対応にも備えられるよう支援します。(環境整備)			
	運動・感覚	体を動かす遊び(体操やダンス、サーキット運動) 用具や道具の使用(制作) ※感覚との連動は様々あり。				感覚と体の動きとの連動、体幹機能の向上、姿勢の保持やバランス感覚、力の加減調整などを身につけられるよう支援します。			
	認知・行動	イメージや想像力(制作、お絵描き) 見通しや様々な体験(危険予知トレーニング、外出支援) ※視覚や聴覚などから工夫して(絵カードやタイマーなどの活用)				障がい特性に応じた個別の支援やサポートを行います。(集団、小集団、個別 様々な場面に応じたアプローチ) 見通し(予測理解)を持つことで不安を軽減し、経験を重ねる事で自信を身につけられるよう支援します。 気持ちの切り替えをスムーズに行える事や、危険回避などにも繋げていけるよう支援します。			
	言語 コミュニケーション	表出方法の確認(会話、文字の読み書き、ジェスチャー、他) 受け答え(聞いた事への理解やかえし方、表情などからの汲み取り) 関わり方(遊びの共有、遊具の共有、おしゃべり、興味関心やマネ)				意思表示/伝えたい思いを上手く表出できるようになる事で 伝わることの安心感や楽しさにつなげていきます。 コミュニケーション/興味関心から関わりをを広げ、他者との関わりに必要なスキルを身につけられるよう支援します。			
	人間関係 社会性	ルール(集団行動や取り決めに対しての理解、時間に沿った行動確認) マナー(聞いた事への理解やかえし方、相手との距離感、言葉遣い) (帰りの会、お手伝い、活動での役割、宿題、身だしなみチェック)				集団でのルールやマナーを身につけられるよう支援します。(指示やルールを理解して皆で最後まで取り組める) 他者との協調性を身につけられるよう支援します。(トラブルに対して自分たちで解決できるようになる) 身につけたことを自信につなげ、自発的な社会参加を促していきます。			
家族支援		・行事活動を通して保護者との交流機会をつくります。(親子バーベキュー、夏祭り、家族会、ゆんたく会 など) ・保護者との連携を深められるよう、細やかに支援内容や確認事項等の情報交換を行います。				移行支援		ライフステージの切り替わり時期などに合わせて、各関係機関と情報共有を行い、支援体制を構築していきます。	
地域支援・地域連携		地域コミュニティ行事への参加。 近隣事業所との交流イベント。				職員の質の向上		職場内研修の実施(虐待・身体拘束防止 防災研修 救命法講習会 他) 職場外研修への参加(地域連絡協議会などへの参加 他)	
主な行事等		春休み遠足(4月) 家族会(5月頃) 親子バーベキュー(7月) 夏祭り(8月) エイブルアート作品展出品(10月) 他事業所とのハロウィン(10月) じゃかいかも植え(10月頃植え付け・2月頃収穫) クリスマス会(12月) 4事業所合同もちつき大会(1月) 初詣(1月) 節分(2月) 卒業・進級・進学祝い(3月) ゆんたく会(年3回程度)							

※本人支援については、『健康・生活』『運動・感覚』『認知・行動』『言語・コミュニケーション』『人間関係・社会性』の5領域を重複して実施する支援プログラムもあります。
詳細は、別紙をご覧ください。